

令和7年度10月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

【会議名称】 令和7年度10月期古賀市社会教育委員の会議

【日時】 令和7年10月24日（金） 18時30分～20時00分

【場所】 リーパスプラザこが交流館 103洋室

【内容】
・今年度の取組検討について
・「生涯学習笑顔のつどい」テーマ、団体決め

【出席委員】 園議長、安部委員、石川委員、梅谷委員、江口委員
倉掛委員、大賀委員、坂崎委員、藤田委員、（以上委員9名）

【欠席委員】 橋爪委員

【事務局】 生涯学習推進課長、職員2名

【傍聴者数】 0名

【配布資料】

- ・レジュメ
- ・資料1 進行案
- ・資料2 配置図
- ・資料3 発表準備スケジュール

(安部委員)

「あったかくぼしきどう」は子どもだけでなく、子どもから大人まで参加でき、地域のつながりを重視している。月1回第1土曜日に開催し、1回で70～80名来られる。

公民館が狭いという課題もある。私も受付で参加したが、ご高齢の方から「私たちも参加していいんですか」という言葉もあった。中には毎回楽しみにされている方もいる。発表は2名。パワーポイントで資料を作成していただける。

(梅谷委員)

筵内区は地域活動に携わっている方にお願いした。

レジュメは私が作成するので、ホームページの必要なところを流して説明する。ホームページを周知して、後で詳しく見てもらう。発表自体は短くして、質問形式で行いたいと思う。

(坂崎委員)

「みんふるや」に発表の承諾をいただいた。できれば、今後は朝勉をしている中学校の教室に本棚を設置いただけるようお願いしている。活動自体は3年。整骨院に本棚を置いている。いろんな場所に置きたいと思ってもらえるような紹介をしたいとのことだった。

(梅谷委員)

今回は過去の伝統が残っている活動や、やり始めた新しい活動もあり、とても面白い発表が聞けると思う。

(坂崎委員)

筵内区は駅伝に多くのチームが出ており、菜の花まつりや演劇など長く続けられていて維持、継続できるメカニズムが見えるような話が聞けたら面白いと思う。

(園議長)

団体への質問があればお願いします。

(梅谷委員)

どんなきっかけで古本屋を始めたのか聞いてみたい。

(坂崎委員)

もともと本人が本が好きでもっと広めたいと思ったことがきっかけ。

古賀館競成館高校のボランティア部とイベントで一緒に活動したこともある。

(梅谷委員)

文庫活動をしているが、本の入れ替え作業が大変で継続が難しいと感じる。新しい地域で手軽に本に触れられる環境が必要だが、発想の転換としていい取り組みだと思う。

(藤田委員)

「みんふるや」の活動にびっくりしている。ぜひ場所を知りたいし、周知をしたらいいと思う。

(坂崎委員)

「あったかくぼしょくどう」は食堂によってやり方がそれぞれ違うので、特徴が分かるような発表になるといいと思う。

(江口委員)

「あったかくぼしょくどう」が他の食堂とどう違うのかが質問に出そうだと思った。

(梅谷委員)

運営上のお金の質問も出るのではないか。補助金の対象はどのようにになっているか。

はじめたい人が補助金のことも分かるような情報提供ができたらいいと思う。

「相談に行ってみよう」という気持ちにもなるのではないか。

(倉掛委員)

古賀市の補助金について資料をつけてもいいと思う。登壇者への質問については、去年を参考にしながら考えたらいいのではないか。

(石川委員)

去年は事前に質問事項を決めていたので、発表者もしっかりと準備をして発表されてあつた。意見交換もとても充実していてよかったです。どの団体も運営資金やスタッフが必要だと思うので、どのように運営しているか知りたいと思う。

「みんふるや」はどのようなシステムで運営しているのか。

(坂崎委員)

場所によって販売したりしなかったり、システムも変えている。世の中に無駄になっている本がたくさんあるので、ロスをなくすためにボランティアとしてやっている。

(石川委員)

筵内区は地域を挙げて放生会を行っており、とても盛り上がってる。

(安部委員)

質問は特にないが、この3つに共通しているキーワードは「地域」だと思う。

筵内区はこれが当たり前だと思っていたというのは、昔の地域の名残が残っていて重要な話だと思う。

(園議長)

資料1 役割分担の説明

フロアからの質問は社会教育委員が質問者になることも想定しておく。

グループからの発表も発表者がいなければ、社会教育委員から発表いただく。

今年は、グループディスカッション形式で、コーディネーターは立てずに行う。

模造紙に感想を書き、意見交換をする。

では司会は石川委員、問題提起は橋爪委員、全体まとめを坂崎委員、閉会行事を園がします。

(梅谷委員)

グループディスカッションはテーマがあったほうがやりやすい。そうでないとバラバラな意見になってしまうのではないか。

(倉掛委員)

対象者はいろんな立場の人が来ているので、テーマはなく自由に話し合ってもいいのではないか。

(園議長)

話のポイントになる質問をあらかじめ持っておいたらいいのではないか。

その流れについては、当日までに決めていけたらと思う。

(倉掛委員)

フロアからの質問はそこで出なければ、グループディスカッションにいき、話し合いの中でも質問が生まれるのではないか。

(園議長)

発表者にも会場を回ってもらい、質問があれば直接できればと思う。

来月は、多目的ホールで実際に模擬グループディスカッションをやってみたいと思う。

資料2の説明

参加者の様子を見ながらグループの人数や委員の人数を調整していく。

(安部委員)

参加者はどうやって集めるのか

(事務局)

事務局からは広報、校長会、区長会等で周知する。事前申し込みではないので、人数は当日まで分からず。参加者の机やいすは人数に合わせて調整する必要がある。

(園議長)

周知については今後また検討していきたい。是非若い人にも来てほしい。

(梅谷委員)

発表者の関係者だけではなく、知らない人にも聞いてもらいたい。

(坂崎委員)

今回の周知はこれから活動を始めようとしている人にぜひ来てもらいたいと思う。

(事務局)

資料 発表準備スケジュールについて説明

(園議長)

最後に、「古賀市の社会教育の現状や好事例」について江口委員から発表をお願いします。

(江口委員)

通学合宿に 관심がある。子どもにとって貴重な経験で学校とは異なる姿が見られる。基本的生活習慣やあいさつも身に着けることができる。コロナで中断後、実施が難しい状況があった。地域の協力者により、今年度実施できたことで、地域とのつながりができた。

(園議長)

私は、日本に居住する外国人の地域での学びに关心がある。古賀市では日本語教室が行われている。

外国につながりのある児童生徒の地域での学びがまだ行き届いていない。言語面での障壁による伝えづらさがある。地域での学びの場の周知や主体的な学びの選択肢を広げる必要がある。

(各委員から)

(大賀委員) 福岡ブロック社会教育委員研修会の報告

(石川委員)文化協会 文化祭、美術展、文化の祭典のお知らせ

(事務局から)

11月13日(木)～14日(金) 九州ブロック社会教育研究大会(アクロス福岡)

(3) 次回開催日程

11月 28 日 (金) 18:30 ~ 会場: 多目的ホール

4. 閉会